



2022年4月19日

各位

会社名 ダイキョーニシカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田 成明
 (コード番号：4246 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員
 経営企画本部長 錦村 元治
 (TEL 082-493-5610)

2022年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月8日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期 連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	119,000	△1,300	100	△1,300	△18.31
今回発表予想 (B)	116,000	△2,700	△1,100	△2,400	△33.80
増減額 (B-A)	△3,000	△1,400	△1,200	△1,100	
増減率 (%)	△2.5%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	150,234	4,456	5,386	2,536	35.75

2. 修正の理由

通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想につきましては、2022年2月8日の公表時には、世界的な半導体の供給不足や、新型コロナウイルス感染症の影響による東南アジア地域からの自動車部品調達支障等により、顧客各社の生産台数が想定台数を下回る見込みとしておりました。

今回、特に世界的な半導体不足の長期化により、想定以上に不足影響が拡大しており、2022年2月8日に公表した連結業績予想時に見込んでおりました国内顧客各社の生産台数が約11%～18%下回り、売上高につきましては、前回は下回る予想となりました。

利益につきましては、以前より継続して生産工程の効率化、投資の抑制や見直しなど、あらゆる経費の削減やコスト改善活動の実施に努めてまいりましたが、減収による減益や急激な生産変動によるコスト悪化により、前回は下回る予想となりました。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。

以上